®日本四特許庁(JP)

①実用新黎出願公開

◎ 公開実用新案公報(U) 平3-28325

Wint. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成3年(1991)3月20日

9030-3 J 8012-3 J A

F 18 D 3/21

◎考案の名称

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全1頁)

等速ジョイント

多多 頤 平1-89414

多出 平1(1989)7月28日

正 與 费田工操株式会社 愛知県刈谷市朝日町1丁目1番地 豊田工機株式会社内

愛知與刈谷市朝日町1丁目1番地

砂実用新索登録請求の範囲

相交わる 2軸の一方に内方継手部材を設け、他 方に外方維手部材を設け、これら内外両維手部材 の外内周面各々に形成されたボール溝と、これら ボール溝間に配された複数個のトルク伝達ボール と、前記内外面継手部材間に嵌合されたケージ と、このケージと前記トルク伝達ポールの間でト ルク伝递ポールを保持するためのポール保持窓と を備えた等速ジョイントにおいて、前記内外方維 **手部材の少なくとも一方に前記ポール際に対応し**

て振動吸収材を備えたことを特徴とする等速ジョ イント。

図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すもので、第1図は 等速ジョイントの断面図、第2図は第1図のⅡ~ Ⅱ断面図である。

11…内方継手部材、13…内ポール構、15 …外方継手部材、17…外ボール溝、18…ケー ジ、21…ポール保持窓、22…ポール、30… 内振勤吸収材、31…外振動吸収材。

1 🛛

貈 2 🗵



